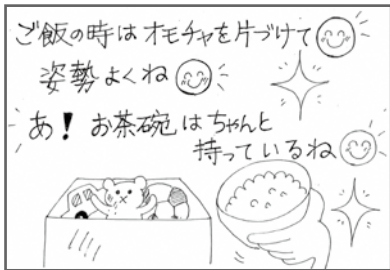


トキ坊と高じい²ほめる



4 ココ漫画 で伝える

『育じい育ばあ』のための『ほめほめ講座』

わかりやすい注意からほめるにつなげる

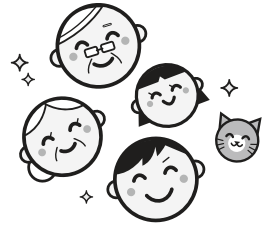
日常生活の中で、子どもに注意をしたり叱ったりする場面はたくさんありますね。

そのような時のアドバイスです!

大人は、伝えたい内容がわかっているのに、ついつい言葉が不足してしまいます。でも、子どもには、伝わっていないことがあります。

「コラ!」「ダメ!」ではなく、「おもちゃを片付けてから食べようね」「茶碗を持って食べようね」と、**ポイント① 子どもにしてほしい行動を具体的に伝える**と良いです。

そして、できたら「片付けたからテーブルがきれいになったね。ありがとう」「茶碗を持つとすてきだね。お兄さんみたいだ」と、**ポイント② ほめ言葉で終わること**で伝える方も聞く方もとても良い気持ちになります。



市民福祉部子ども若者課 子ども若者相談センター

☎58-8077

子ども若者相談センターをご利用ください

子どもからおおむね30代までの若者に関するあらゆる相談を受け付けています。専任の相談員が、保健師・学校・保育園・児童相談所などと連携を取りながら対応します。

◆ご相談の秘密は固く守られます。

子どもの発達やしつけ、子育ての悩み、不登校、非行、虐待、そのほかどんな問題でも、お気軽にご相談ください。

市立病院から
こんにちは

両津病院 診療部長
小林 良太先生 診療科目/内科

初めて佐渡で外来を持った時、都市部と比べ、特に80代以上でお元気な方が多いのに驚きました。その多くが農作業などで日常的に体を動かしている方だったように思います。

Sさんは私の外来に定期通院される最高齢の患者さんです。今年の誕生日でなんと108歳!いつも穏やかな笑顔で、受け答えも普通に可能です。今こそ診察室へは車椅子で入られますが、ほんの1、2年前までは、お名前を呼ぶと自力歩行で入室されていました。やはり穏やかなご家族があなたを支えておられる様子にも、感心させられます。

今でもがっちりとした筋肉のある体つき。トイレまではなんとか(現在は這って)自力移動。夕食時には決まって一杯の日本酒。最近やむなく追加はしましたが、長いこと1種類のみで余計な薬は飲まれませんでした。体を使い、適切な食事を取り、楽しみを持ち、心持ち穏やかで、自分でできることは楽しんで、自分でいける。そして、安易に薬に頼らない。

まるで、「雨ニモマケズ」のようだなあと思うのですが、結局のところ、そんな当たり前の生活態度が大切なのだと、お目にかかるたびに教えられるような気がします。

今回は両津病院の霍間先生です。

